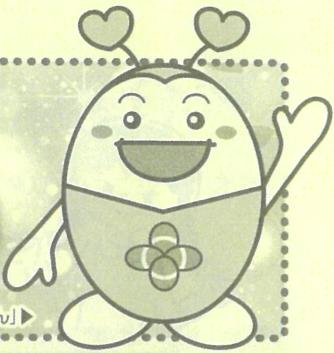


第75号 令和3年10月発行

ボランティアだより

大分市社会福祉協議会マスコットキャラクター 要称「ふくしのピロロちゃん」▶



日頃のふれあいで 災害にも強いまちづくりを

今年も全国で大規模災害が相次いでおり、大分市でもいつどのような災害が起こるかわかりません。このような中、災害直後の避難行動支援や生活復興に向けた被災住家の片付けなど、地域住民の自助及び互助活動に大きな期待が寄せられています。

市社協では、こうした地域での支え合いを円滑にできるよう、災害ボランティアの登録拡充に取り組んでいます。



登録募集中! 大分市災害ボランティア

災害ボランティアとしてご協力いただける市民の方に事前登録をしてもらい、研修や訓練などを通じて、本市の災害時に、被災者の家屋の泥出しや清掃活動などや、災害ボランティアセンターの運営補助などを担ってもらおうとするものです。皆様の登録をお待ちしています。

お問い合わせ先

大分市ボランティアセンター
TEL097-547-7419



第52回大分市社会福祉大会のお知らせ

日 時 11月17日(水) 午後1~2時 会 場 J:COMホールトホール大分 大ホール

参 加 新型コロナウイルス感染予防対策のため表彰関係者のみで実施します

久しぶりに 小学校にお伺いしました



コロナ禍の中、延期になっていました福祉学習講座が10月より、実施できることになりました。

体験活動の少ない中で子供たちは活き活きと取り組んでいました。

写真は点字の練習をしている様子です。大分市「点訳友の会」の皆さんのがボランティアで指導を手伝ってくれました。

福祉学習講座は福祉の心を育む目的で市内の小中学校で行っています。本年度は20校の小中学校で実施する予定です。内容は点字、手話、車いす、障がい者スポーツの体験などです。



読み聞かせの技術を磨いて、朗読ボランティア活動を

大分市ボランティアセンターでは朗読の技術を磨いて、ボランティア活動ができる市民の方を毎年募集しています。

本年度も15名の定員を超える応募がありました。コロナ禍の中で感染予防対策を講じて、10月より講座を実施しています。

毎月2回講座を行い、全10回の講座で2月に終了の予定です。



朗読ボランティア養成講座開講式の様子です



講師

島田 稔

コロナ禍のここ2年、朗読や読み聞かせをする重要な要素がマスクで隠れてしましました。口の開き、舌の位置そしてマスクがフィルターになって本来の声が判らないといった苦戦が続きます。また、次のステップである施設訪問や発表会などが全面的に再開されず、モチベーションの維持も大変です。

思い切り本を読み、聞かせる日のため、文の読解力をつけアクセントを直し、言葉の背景を学んで、地道な努力を続けます。

[プロフィール] NHKのアナウンサーとして日本の各地で活躍されました。また、NHK文化センターの大分支社長を歴任されました。

ボランティアグループの活動紹介

大分市ボランティアセンターには、様々な分野でボランティア活動をする団体や個人の方々が登録されています。

令和3年10月末現在の登録者数 297団体8,645人、個人 441人

(大分市ボランティアセンターのホームページにグループ名簿が公開されています)

ダブルケア大分県 しましまかふえ

私たちは、ダブルケア（育児と介護の同時進行）の周知、子育て世代の方へ介護を備える啓発活動を行っています。しましまかふえでは、毎月各所でダブルケアカフェとして、当事者の方達が情報交換をしたり、気持ちの整理をしたり、気持ちを話す=放す場所を設けております。ダブルケアを多くの人に知ってもらう為、当事者の方はもちろんですが、若年層の介護に関心がある方、ダブルケア予備軍の方も参加していただけます。10月からはケアラーズカフェそらまめを拠点とし、ケアラーという言葉を多くの方に考えてもらいたいと思い、発信していきます。介護、看病、お世話、療育等、複合的な心配事の当事者の方、そして赤ちゃんから地域の高齢者まで、いろいろな方が「ここにちは」と覗いてくれるような場所。そして、悩んでいる事、日々の何気ない想いなど気軽に語り合う場としてケアラーの居場所になりたい。と思っています。



代表 佐藤 智子



Instagram ▶ <https://www.instagram.com/simasimacafe.oita/>

りんごの会

私たちが毎月訪問していたのは重症心身障害の方の病棟で、患者さんはベッドから一人ではどこへも移動することが出来ません。そんな方たちが、コロナでご家族との面会も出来ず、ボランティアの訪問も無くなり、どんな思いで毎日を過ごしているのだろうと気になっていました。大学在学中から私たちと一緒に病院訪問をしてくれていたAPUの卒業生の人たちと相談し、音楽ビデオを作って届けることを計



画して、これまで訪問をしてくれた人たちに声をかけると、国内だけでなく留学生だった人達も参加してくれ、歌や楽器演奏の音源や動画、写真が寄せられ、それらを編集して病院に送ることが出来ました。病棟から全く出られない患者さん達が少しでも笑顔になれたらとの温かい気持ちが集まり届けられたことをとても嬉しく思っています。けれどもやはり、私たちは、患者さんの側で手を取って、目と目を見ながら一緒に歌える日が一日も早く来ることを願っています。

代表 甲斐 なお子



大分県社会福祉協議会からのお知らせ

〔第18回大分県ボランティア・NPO推進大会〕 が開催されます

目的 コロナ禍におけるボランティア・NPOの状況や課題等を考え、互いに日頃から支えあうことができる元気な地域社会づくりを目指すため、住民一人ひとりのボランティア精神の醸成及びボランティア・NPO活動の活性化を推進し、今後の地域課題に対する市民活動の機運を醸成することを目的に開催します。

テーマ 「あつまれ!ボランティア・NPOの輪2021」

主 催 大分県・大分県社会福祉協議会・大分県ボランティア連絡協議会

日 時 令和3年11月29日(月)
13:00~15:50(受付12:20~)

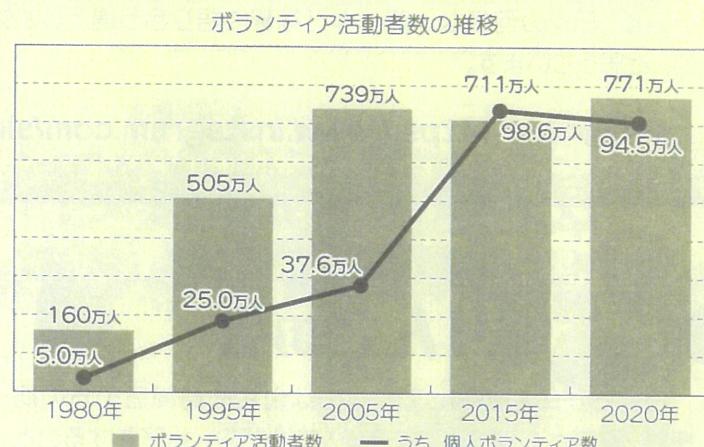
会 場 J:COMホルトホール大分3階 大会議室
(大分市金池南一丁目5番1号)

※このお知らせは、登録団体代表者様にご案内済みです

社協が把握する2020年のボランティア活動者数は771万人 ～「ボランティア活動者数調査」から～(全社協 全国ボランティア・市民活動振興センター)

全社協 全国ボランティア・市民活動センターが実施している「ボランティア活動者数調査」の2020年の調査結果がまとめました。全国の都道府県・指定都市、市区町村社協が把握するボランティア数は2020年4月1日現在で7,716,684人となりました。

この調査は1980年からほぼ毎年行っているものです。「社協が把握する」との条件のもとですが、全国のボランティア活動者数を把握する唯一の調査となっています。



ホームページのご紹介

全社協 全国ボランティア・市民活動振興センター
地域福祉・ボランティア情報ネットワーク

▶ <https://www.zcwvc.net/>

ご迷惑をおかけしています
ボランティアルームは現在利用できません

ホルトホール大分4階にあるボランティアルームは、グループの例会や勉強会、情報交換の場として無料でお使いになれる部屋です。

しかし、現在は他の業務のため使用できません。しばらくお待ちください。



ボランティアだより

発行元・お問い合わせ

社会福祉法人 大分市社会福祉協議会 地域福祉課 大分市ボランティアセンター
〒870-0839 大分市金池南1丁目5番1号 J:COMホルトホール大分4階
TEL: (097) 547-7419 FAX: (097) 547-9559 E-mail: volut@oita-syakyo.jp
開所日時: 月~土曜日 9時~18時 【ただし、第2・4月曜日(祝日の場合は翌日以降の平日)及び祝日、12月28日~1月3日は除く】